

# 地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会 【祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク編】



令和4年8月8日（月）に県内の小中学生を対象とした現地学習会を延岡市で実施しました！  
今回は祖母・傾・大崩ユネスコエコパークをフィールドに、急峻な岩峰や清流など世界に誇る大自然に触れる体験を通して、「人と自然との共生」について学びました。



- 〈参加者数〉 14名  
〈実施内容〉 ○千畳敷展望所（延岡市北方町）  
○鮎の塩焼き体験  
○清流小川でのカヌー・カヤック・ラフボート体験

## ○千畳敷展望所

噴火によって地中から吹き出たマグマが冷えて固まり特徴的な地形が生まれたなど地形の特徴や成り立ちについて話を聞きました。  
ロッククライミングの名所になっていて、県外からたくさんのクライマーが訪れているそうです。



## ○鮎の塩焼き体験

スタッフから、皮目が網に付いて身が崩れてしまわないように、表面が乾燥するまでは浮かせて、回転させながら焼くことを教わりました。炎天下での作業で大変そうでしたが、焼き方のコツをお互いに教え合い、初めての体験を楽しんでいました。



## ○清流小川でのカヌー・カヤック・ラフボート体験

最初は、ボートから落ちる事を怖がっていた子どもたちも、すぐにコツを掴み、川の楽しみ方を教って楽しんでいました。  
川遊びの後、スタッフから、  
「小川の利用は漁協との取り決めで毎年8月までとしており、9月には関係者で川の一斉清掃を行っている。」  
「今回の経験を通して、自然と共生することについて考えてほしい」とお話がありました。



ふりかえりの時間では、  
「延岡にこんな所があるとは思わなかった。」  
「小川がきれいなのは、森に囲まれていて、源流にダムがないからだと初めて知った。」  
「山、海、川はつながっているから、川をきれいに保つためには全てを大事にしないといけないと思った。」などの感想があり、地元への誇りと愛着を深めることができたと感じています。